

社会福祉法人 伊賀市社会事業協会

曙保育園・ゆめが丘保育園/三重県伊賀市

伊賀市社会事業協会は、戦後の混乱が続いていた1948年に社会事業を行う任意団体として、有志の市民により創立されました。社会福祉法人として組織変更した1952年以降は、児童福祉施設や高齢者福祉施設、医療 関係施設等を運営する総合福祉事業者として地域に貢献されています。

本事業では、当法人の基本理念である「誠実・博愛・信頼」に基づいたさらに質の高い福祉サービスを提供するため、曙保育園とゆめが丘保育園に停電対応型GHPを導入。園児の安心・安全を最優先に考えた施設の防災対策を図りました。

補助事業の概要

曙保育園	導入設備：停電対応型GHP20HP×1台 補助金額：6,069千円
ゆめが丘保育園	導入設備：停電対応型GHP20HP×1台 補助金額：4,312千円



曙保育園 外観



ゆめが丘保育園 外観

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

社会福祉法人 伊賀市社会事業協会 本部事務局 木戸 秋比人様

当法人は、三重県伊賀市内で児童福祉施設や老人福祉施設、医療関係施設等、様々な社会福祉施設を運営する総合社会福祉事業者として、地域の方々に福祉サービスを提供しています。また、当法人が運営するすべての児童福祉施設は、災害が発生した際に地域の方々が避難する避難所として伊賀市の指定を受けており、日頃から自治体と連携して地域防災活動にも努めて参りました。

各施設が、それぞれの機能や避難所としての役割を有する中、全国各地で相次ぐ風水害等の被害状況を鑑みた時に、地域防災において重要な役割を担う社会福祉事業者として、施設利用者の安全・安心を確保するために、災害時にも施設機能を維持できる設備の整備が急務であるとの考えから、災害対応設備の導入を検討しました。

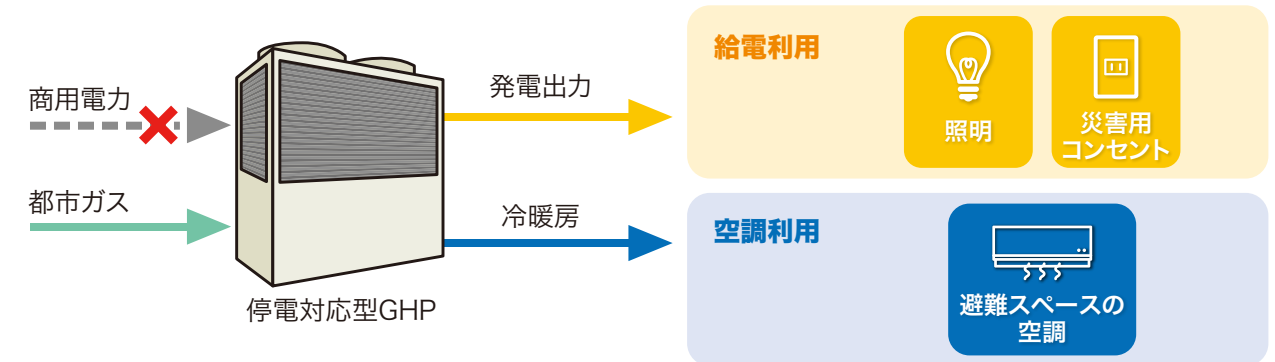
検討においては、地域防災の拠点となる児童福祉施設のうち、空調設備の更新時期を迎える2施設について災害対応設備へ更新する方針を決定。災害時において、①園児の安全・安心を確保するために空調機能を継続的に使用できること、②不可欠となる保護者さまや自治体との連携を図るために必要な通信機器を使用できること、この2点を踏まえて検討した結果、停電対応型GHPへ更新することにしました。導入にあたりコスト面において課題がありましたが、主に避難所を対象とした当補助金を活用することができたため、事業の実施に踏み切ることができました。

今回の事業により、園児の健康を管理する上で重要な空調設備を継続使用できるようになったことが、何よりの安心材料になっています。加えて、通信機器を使用した保護者さまとの連絡や地域の防災拠点として外部との連携を図るための備えができたことも、避難所としての施設機能の向上につながったものと考えております。

停電対応設備の起動方法を全職員で共有するなど、実効性を高める取り組みも同時に進め、今後も災害への対策を進めていきたいと思ひます。

平時・災害時のエネルギーシステム

- 停電時** ☒ 園児が避難するスペースの空調と外部との連絡手段となる通信設備へ給電
- 平時** ☒ 高効率空調機への更新により省エネルギー化



停電時の設備活用例

給電利用



照明利用が可能な避難スペース
(ゆめが丘保育園)



外部との通信手段を確保
(曙保育園)

- 照明や非常用コンセントからパソコン等へ給電
- 施設内の照明を継続利用
- 保護者さまとの連絡や地域の防災拠点として外部との連絡が可能

空調利用



空調利用が可能な避難スペース
(曙保育園)



空調利用が可能な避難スペース
(ゆめが丘保育園)

- 保育室や事務所の空調の継続利用が可能
- 園児の安心・安全が第一である中、施設内の冷暖房が利用できることが何よりの安心材料になっている